

平成 27 年 11 月 17 日
東邦ガス株式会社
都市エネルギー営業部

天然ガス自動車普及の取組

1. イベントでの天然ガス自動車の展示・試乗等

イベント名	H26 年度	H27 年度
環境デーなごや	9/12	9/19
人とくるまのテクノロジー展（ポートメッセ）	12/11～12	H27 未開催
トラックと交通安全・環境フェア	10/5	10/4
はたらくクルマ展（セントレア）	10/18、19	—
小牧市環境フェア	11/15、16	11/14、15
名古屋モーターショー	H26 未開催	11/20～23
みえ環境フェア	12/7	12/6

2. 大型天然ガストラック普及への取り組み

①物流の低炭素化促進事業（国土交通省と環境省の連携事業）

500km程度の幹線貨物輸送に大型天然ガストラックを導入、併せて天然ガススタンドをその起終점에配置する事業。H26 年度予算 2 億円。H27 年度予算 2.1 億円。

当地区では H26 年度名古屋陸送殿（熱田区）の北陸便（セントレア～富山市）に導入された。H27 年港明エコ・ステーション（港区）の移設・増強に向け作業中。

②いすゞ自動車が H27 年度に大型天然ガストラックを市場投入予定。

③大型天然ガストラックの普及推進事業（日本ガス協会）

日本ガス協会が H23 年から都市間輸送を行う運送事業者に大型天然ガストラックを貸し出し、モニター走行を実施。当地区では H26 年度に名豊興運殿（小牧市）、過去にヤマコン殿（小牧市）、トナミ運輸小牧支店殿で実施。

3. 天然ガス自動車広告掲載制度

天然ガス自動車シール貼付で広告掲出料（H27 CNG トラックに 20 万円/台、大型 CNG トラック 100 万円など）支払。H26 年度実績 34 台。H27 年度見込み 32 台。

4. 社有車への天然ガス自動車導入

・H26 年度累計：638 台。H27 年度新規導入 26 台予定。

5. 天然ガススタンドの整備

- ・天然ガススタンドの整備状況 名古屋市内 9 ヶ所。
（市交通局鳴尾営業所及び民間事業者の急速充填所各 1 ヶ所を含む。）
- ・丸の内エコ・ステーション（中区）9 月末閉鎖。
- ・H27 年度に予定の港明エコ・ステーション（港区）移設・増強に向け作業中。
水素および LPG ステーションも併設される
- ・天然ガススタンドカタログ等作成配布。

6. 燃料電池関係

- ・H27 年度 「とよたエコフルタウン水素ステーション（豊田市）、新港明水素ステーション（仮称）」（港区）開所予定
- ・H26 年度 日進水素ステーション（日進市）開所、燃料電池車 1 台導入

以上

物流BCPの切り札 災害に強い天然ガストラック



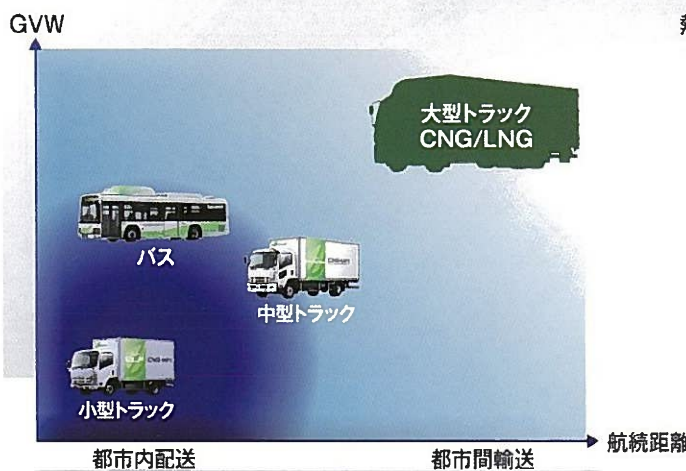
運送事業者様、荷主様に、今なぜ天然ガストラックが選ばれるのか

- エネルギーセキュリティ、ガスシフトによるベストミックス
- 災害時の供給安定性

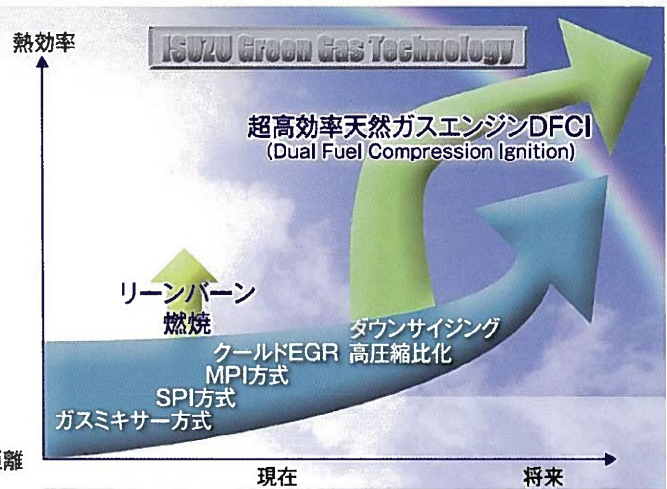
いすゞ自動車の取組み

2015年大型天然ガストラックの販売開始、天然ガストラック用エンジンの高効率化へ

モデルラインナップの拡充



飛躍的燃費向上=低CO₂



出展:天然ガストラック普及戦略シンポジウム (2014年10月23日)
いすゞ自動車資料

いすゞ自動車の今後の展望

- ・モデルラインナップの拡充
短期的には、都市内輸送を担っている中小型トラック・バスに加え、都市間輸送を担う大型天然ガストラックの販売を開始する。続けて、航続距離、燃料充填時間短縮に、よりアドバンテージのあるLNG車のモニター走行を開始する。
- ・飛躍的燃費向上=低CO₂
これまでの火花点火式のエンジンの改良を図るとともに、熱効率を飛躍的に高める圧縮着火方式の超高効率天然ガスエンジンDFCIの開発を進め、さらなる燃費の向上と低CO₂化を推進する

都市ガス事業者の取組み

調達の安定性、さらなる経済性の追求に向けて。

ガス事業者によるLNG調達先



割安なCNG料金プランの提供

- ・現行の油価連動のLNG契約方式に加え、新たに米国より市場価格でシェールガスを調達し、多様な契約方式を導入することで、天然ガス自動車の経済性向上を目指します。
- ・さらに都市ガス事業者(東京ガス・大阪ガス・東邦ガス)は、各社毎に割安な「大型天然ガストラックCNG料金」を提供しています。

ガス事業者導入予定のシェール由来LNG案件	
フリーポート	220万トン
コーブポイント	140万トン
キャメロン	82万トン

都市ガス事業者の取組み

天然ガススタンドの新設・増設を加速。いすゞ自動車の大型天然ガストラックにも対応できる天然ガススタンドを拡充します。

国内インフラの拡充・整備

物流強靱化時代に向け、物流施設を中心に幹線輸送にも活用できる天然ガススタンドを新設し、充填時間、待ち時間短縮のための設備増強を進めています。

1. 平成23年度～平成26年度

天然ガススタンドの新設・設備増強

新設・リニューアル	名称(所在地)	時期	設置事業者	設備増強	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	樽川ISS天然ガススタンド(石狩市)	平成23年12月	北海道ガス(株)		10スタンド	5スタンド	1スタンド
岡山トラックターミナル天然ガススタンド(岡山市)	平成24年3月	岡山県トラックターミナル(株)					
大阪福島天然ガススタンド(大阪市)	平成25年1月	福山通運(株)					
埼玉八潮天然ガススタンド(八潮市)	平成25年2月	福山通運(株)					

2. 平成27年度～

天然ガススタンドの新設計画

平成27年度に3ヶ所
新設・リニューアル予定

さらなる拠点整備の推進

将来に向けた都市間輸送・都市内輸送を広げるため
東名阪を中心に天然ガススタンドの整備を進めます。



政策における位置づけ

天然ガストラック普及が重要な政策に。

エネルギー基本計画
(2014年4月)

経済産業省

「次世代自動車」の普及促進として、自動車等の様々な分野において需要家が多様なエネルギー源を選択できる環境の整備を行い、「次世代自動車」の新車販売に占める割合を、2030年までに5割～7割とし、同様に「先進環境対応車」は、2020年において8%とするとしています。また、次世代自動車の普及・拡大に当っては、インフラ整備が不可欠とも明記されています。なお次世代自動車とは、ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、CNG自動車等としています。

国土強靱化
アクションプラン2015

2015年6月
国土強靱化推進本部

国土強靱化(ナショナルレジリエンス)とは、国家のリスクマネジメントであり、強くしてしなやかな国をつくることで、日本の産業競争力を強化し、安全・安心な生活づくりを担うものです。

交通・物流(交通ネットワークの強靱化の推進)として記載

「トラック事業者のBCP策定の推進、
エネルギーセキュリティの推進(C・LNG車両の普及)等に取り組む」